

Albirex Racing Team

2018年 Super FJ地方選手権シリーズ

富士チャンピオンレース

第4・5戦(富士スピードウェイ)
レースレポート



Moty's HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



**MAKE
WINNER**

Zip Auto



新潟 第一ホテル
Niigata Daiichi Hotel

MOTOR FREAK

たわら屋



開催日

2018年 11月17日（土） 第4戦 予選/決勝
11月18日（日） 第5戦 決勝

開催サーキット

富士スピードウェイ 1Lap=4.563Km 出走：11台

参戦ドライバー



#37 アルビメークウィナーOJED

ドライバー：齋藤 海斗
Driver Kaito Saitho



#36 アルビGIA玉三郎10VED

ドライバー：草野 貴哉
Driver Takaya Kusano

Moty's HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校



**MAKE
WINNER**

Zip Auto



新潟 第一ホテル
Niigata Daiichi Hotel

MOTOR FREAK

たわら屋



RACE REPORT

第4戦 公式予選結果 2018/11/17 (土) 10:40～ 天候：曇り コース状況：ドライ

#36 アルビGIA玉三郎10VED 草野 貴哉 ミッショントラブルにより走行中止、Rd.4決勝グリッド、最後尾スタートとなる

#37 アルビメークウィナー0JED 齋藤 海斗 10位 Fastest 1'57.045 / Ave.Km/h 140.346

第4戦 決勝結果 2018/11/17 (土) 16:00～ Laps:12 天候：曇り コース状況：ドライ

#36 アルビGIA玉三郎10VED 草野 貴哉 6位 Time 23' 04.534 / Ave.Km/h 141.584 / Fastest 1' 54.063 (Lap7)

#37 アルビメークウィナー0JED 齋藤 海斗 11位 Time 23' 31.132 / Ave.Km/h 138.915 / Fastest 1' 56.401 (Lap3)

*Rd.4決勝ベストタイム順にRd.5決勝グリッド決定、草野選手P7 / 齋藤選手P11

第5戦 決勝結果 2018/11/18 (日) 10:35～ Laps:12 天候：曇り コース状況：ドライ

#36 アルビGIA玉三郎10VED 草野 貴哉 6位 Time 23' 10.300 / Ave.Km/h 140.996 / Fastest 1' 54.183 (Lap12)

#37 アルビメークウィナー0JED 齋藤 海斗 リタイア(Lap3)

富士シリーズ最終戦、週末を通してドライコンディションの開催となった。予選では草野選手がコースインするもミッショントラブルに見舞われ走行できず、齋藤選手もスイッチしたマシンで苦戦を強いられました。

Rd4決勝では草野選手は最後尾からのスタートながら順位をあげ6位フィニッシュとなりました。

迎えたRd5決勝で齋藤選手はダンロップコーナーにて#38号車の選手と接触しピットイン・リタイアとなり残念な結果となりました。草野選手はレース序盤から6/7位争いのバトルを繰り広げましたバトルは最終回までもつれるも6位でフィニッシュとなりました。



Moty's HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY



MAKE WINNER



新潟 第一ホテル
Niigata Daiichi Hotel

たわら屋

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校

Zip Auto

MOTOR FREAK



草野選手 コメント

前回のレースの反省を踏まえて、木曜からの走行で改善していきクルマもいい方向にセットを出せて上位と争える状態でした。
ただ、2レースともにスタートの蹴り出しの悪さが目立つレースとなりペースが良かっただけに残念な結果となってしまいました。
予選でのトラブルを修復してくれたメカニックに感謝しています。

1年間富士シリーズ参戦するにあたって
ご支援ご声援本当にありがとうございました。



齋藤選手 コメント

今回富士で11月17、18日に第4戦、第5戦が行われました。
第4戦は予選10位で決勝10番手スタートで前回よりスタートは良くて前の車両とそれほど離れてなくて最初は良かったのですが、後半で最終コーナーでミスをしてしまいアクセルを踏みたいところで踏めなくなり前の車両と離されてしまい追いつくことができず11位で決勝は終わってしまいました。

第5戦は11番手スタートでスタートは少しミスってしまいましたが、前の車両と離されることなくついて行くことが出来、ホームストレートで抜かして3周目でダンロップコーナーの所でチーム同士で接触してしまいリタイアしてしまいました。

2018シーズンも応援いただきありがとうございました。



監督代行 コメント

今回は第4戦、第5戦と1イベント2レースというスケジュールでした。
第4戦のレース中のベストタイム順で第5戦のグリッドが決定されるという事で
“より”予選・第4戦のレースペースが重要なイベントでした。

レースウィークの練習走行、草野選手は新たなドライビングの方向性をセットアップも
含めてチャレンジし、齋藤選手は前回までのマシンより今回違うマシンへスイッチし
上位をめざし走行を重ねました。

予選では草野選手がミッショントラブルにより計測できず、齋藤選手もアタック ポジション
の選択ミスによりタイムも伸びず草野選手11番手、齋藤選手10番手と かなり厳しい
予選となりました。第4戦決勝までには草野選手のマシンの修復も無事に終わり
草野選手6位・齋藤選手も予選よりもペースは良かったですが11位でチェッカーとなりました。

第5戦決勝は草野選手が7番手・齋藤選手が11番手スタートとなりました。
齋藤選手はレース序盤に接触しピットインしましたが、マシンダメージがあり走行するには危険と判断したためリタイヤとなりました。
草野選手は最終ラップまでポジション争いを繰り広げ6位チェッカーとなり、これにより草野選手がシリーズランキング5位となり
富士シリーズは終了しました。

悔しさが残るシーズンとなってしまいましたが、12月に行われる日本一決定戦へ向けて、また来シーズンへ向けて迷いなく前進して
行きたいと思います。チームはもとより、各選手を応援・サポートして頂きました皆様ありがとうございました。

(2018 S-FJ&F4日本一決定戦 12月15.16日開催/ツインリンクもてぎロードコース)



アルビレックスレーシングチームエンジニア 櫻井允-Makoto Sakurai-

38新潟国際自動車ワーズ EDKK
鹿谷遼平選手 -Ryohei Shikatani-

予選 / Rd.4-9位 ・Rd.5-10位
決勝 / Rd.4-10位・Rd.5-リタイヤ



Moty's HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

GIA 専門学校
新潟国際自動車大学校

MAKE WINNER

Zip Auto

NIIGATA DAIICHI HOTEL 新潟 第一ホテル
Niigata Daiichi Hotel

MOTOR FREAK

たわら屋

SPN SPEED PARK NIIGATA